

とだ議会 だより



3月定例会

No. 173

2012年(平成24年)5月1日



平成24年度予算決まる.....	2
討論、予算のあらまし	4
委員会の審査から	6
総括質問	8
そこがききたい(一般質問)	11
23年 常任委員会の年間活動成果	20

平成24年
3月
定例会

2月22日～
3月21日

平成24年度 予算決まる

一般会計 **10.9%** 増

市税 **0.1%** 増

埼玉県初 暴力団排除条例を可決

市長から提案された議案は、総額483億円の平成24年度一般会計予算と、244億円の特別会計予算など、当初予算16件、補正予算10件、暴力団排除条例の新規定など条例17件、規約変更1件、人事案件4件の、合計48件でした。

↓当初予算5P参照
人事案件を除くこれらの議案は、説明、質疑の後、各常任委員会、慎重に審査しました。

そして最終日の本会議で、委員長報告、討論・採決が行われた結果、市税条例改正などの条例2件、介護保険と後期高齢者医療の2件の特別会計予算は賛

成多数で、その他の議案は全会一致で可決しました。

↓討論4P参照
また、市長の施政方針に対する総括質問では、会派を代表して4人の議員が質問し、3日間にわたり行われた一般質問では14人の議員が活発な論戦を展開し、執行部の考え方をたしました。

↓総括質問概要8P、
10P参照
↓一般質問概要11P、
18P参照
一方、議員提出議案として「災害に強い日本」の構築に向けた社会資本整備を求める意見書」など2件が提出され、いずれも可決しました。

意見書5P参照
なお、今定例会には5件の請願が提出されましたが、1件は不採択、1件は趣旨採択、3件は継続審査となりました。

【条例】
●暴力団排除条例
暴力団排除活動の推進に関する基本理念及び必要な事項を定める新規制定です。

●中小企業融資条例
中小企業者等に対する融資制度の見直し等に伴い、小口融資条例など5件の条例を一本化するものです。

主な議案の概要

●市税条例の一部改正
地方税法等の改正に伴う規定の整備で、個人市民税均等割が26年度から500円増税されることなどです。

●印鑑条例等の一部改正
外国人登録法の廃止に伴う関係条例（15件）の改正です。

●高齢者総合介護福祉条例の一部改正
平成24年度から26年度までの介護保険料の改定と、高齢者訪問理

容サービス事業への訪問美容サービスの追加、外国人登録法の廃止に伴う文言の整理などです。

●奨学資金条例の一部改正
奨学資金の返還免除の条件として、自宅が著しく被災した場合を追加するものです。

●海外留学奨学資金等給与条例の一部改正
海外留学奨学資金の受給資格を拡大するものです。



▲市民医療センターの完成予想図（平成25年度竣工予定）



▲賛成多数で市税条例の一部を改正する条例を可決（右上は平野議長）

【23年度補正予算】

歳入歳出それぞれ79億5万4000円を追加するもので、主なものは次のとおりです。

①都市開発基金（3億9569万円）、財政調整基金（9億5203万円）の積立金。
②国民健康保険（1億2599万円）、新曽第一土地区画整理事業（2億8513万円）特別会計への繰入金。
③新曽第二土地区画整理事業特別会計への繰入金減額。（4億6331万円）

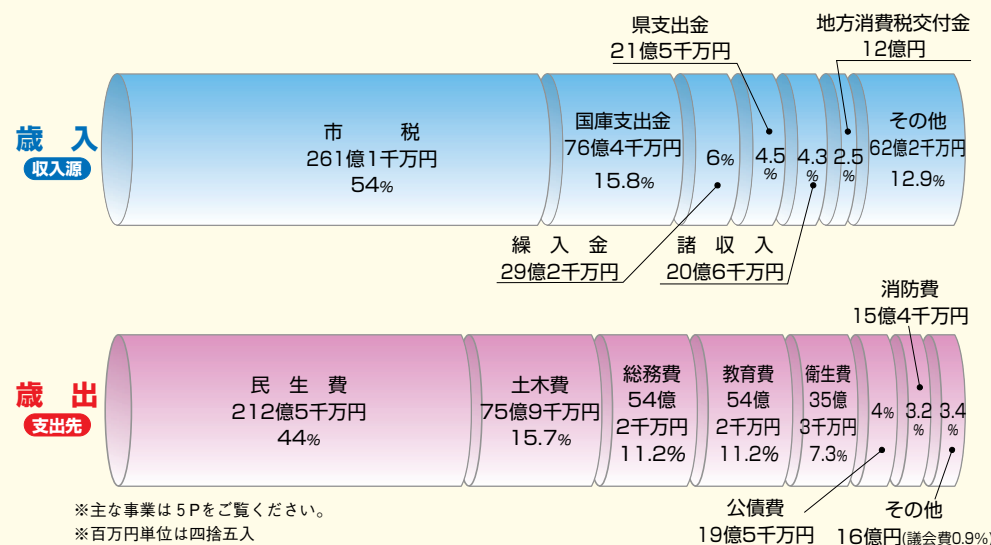
【人事案件】

●副市長
山田一彦氏（再任）
●教育委員会委員
仙波憲一氏（再任）
●公平委員会委員
江口嘉一氏（再任）
●監査委員
鶴森寿士氏（新任）

平成24年度 予算

一般会計 483 億円

今年はこのように使います



討論

今定例会では、議案3件及び請願1件
に対して延べ7議員が討論を行いました。
その概要は次のとおりです。

市税条例の一部を改正
する条例

反対 岡寄 郁子議員

これ以上の
市民負担増には反対

賃金の引き下げ、年金保険料の引き上げなどに加え、個人市民税均等割や所得税増税と、これ以上の市民負担増には賛成できない。企業は法人税増税が行われるものの、法人税の実効税率引き下げで負担は軽く、復興財源が国民のみの負担増となることから反対する。

賛成 秋元 良夫議員

関係法令に伴い
改正するもので、必要

高齢者総合介護福祉条
例の一部改正

反対 花井 伸子議員

一般会計から繰り入れ
保険料の引き下げを

東日本大震災復興基金
本法に基づき地方公共
団体が実施する防災施
策に必要な財源を確保
するため個人市民税均
等割を加算するもので
、妥当と考える。法人
課税の実効税率引き下
げは景気回復を図るも
のである。同法により
法人税額に10%を掛け
復興財源を確保する措
置が講じられており、
市民税と均衡を失する
とは言えない。必要
な改正であり、賛成
する。

賛成 山崎 雅俊議員

低所得者への
配慮が見られ、賛成

戸田市では介護保険
料の大幅な上昇を抑え
るため財政安定化基金
を取り崩し、さらに準
備基金の大半を財源と
して取り崩し、基準と
なる第4段階の保険料
を最小限に抑えること

基準となる第4段階
の介護保険料を引き上
げる改定案が示され
た。戸田市は準備基金
を取り崩し、県交付金
を保険料の引き上げ抑
制として計上し、また
特例第4段階の継続
と、新たに特例第3段
階を設けるなどの低所
得者対策を講じたこと
は評価するが、ことは
後期高齢者医療保険
料の見直しの年と重なり、
高齢者の生活を直
撃し苦しめることは明
らかである。戸田市も
調整交付金不足分を一
般会計から繰り入れ、
保険料を引き下げるこ
とを求めて反対する。

平成24年度
一般会計予算

賛成 岡寄 郁子議員

こども医療費充実等、
総体として賛成

24年度予算が、市民
要望、また、国民生活
をめぐる国の政治動向
や震災と原発事故を受
けての対策について、
戸田市の財政力を市民
のために活用するとい
う姿勢を持ち、前進し
た内容となっているか
を検討した結果、市民
要望として繰り返し求
めてきたこども医療費

の充実（入通院とも中
学卒業まで無料）を初
めとする子育て、医療
保健分野の前進、障が
い者福祉の充実、地域
経済の活性化（住宅改
修資金助成事業の実
施、原発事故による
放射能汚染対策の強化
などが盛り込まれてい
る。これまで指摘した
問題が残されているも
のがあるが、予算総体
として賛成する。

消費税によらない最低
保障年金制度の創設を
求める請願

賛成 花井 伸子議員

財源の考え方を
応能負担にせよ

民主党が示す年金改
革案では、すぐ解決し
なければならぬ低年金
や無年金問題をどう
するかというところから
最低保障年金の話が出
てきたはずが、ずっと
将来の話になってしま
っている。さらに最低
保障年金の財源が消費
税頼みで、その分の消
費税増税が必要になる

反対 山崎 雅俊議員

消費税を含めた
財源問題の議論を

超高齢化社会には、
それにふさわしい額の
税と社会保険料負担が
必要となるが、給付引
き下げや負担引き上げ
を先延ばしにしてきた
結果、社会保障財政は
破綻の危機に瀕してい
る。税と社会保障の一
体改革が議論されてい
ることは至極当然とも
言える。年金問題を含
む社会保障改革につい
ては、経済の建て直し
による景気向上、さら
なる行財政改革や政治
改革による徹底した無
駄の排除などに取組
みながら、消費税を含
めた財源問題について
議論すべきであり、請
願は不採択と考える。

平成24年度予算のあらまし

一般会計

483 億円 前年度比 10.9%増

特別会計

※14の特別会計の合計額

244 億 4320 万円 前年度比 0.3%減

水道事業会計

収益的収入 24 億 4344 万円
収益的支出 23 億 6206 万円
資本的収入 3 億 8912 万円
資本的支出 15 億 3027 万円

収益的収支…水道料金収入や、水をみなさんのご家庭
まで送る費用です。

資本的収支…水道管や配水池などの施設の拡充費用や、
国からの借入金を返済する費用です。

平成24年度当初予算の主な事業

(千円単位は切捨て)

基 本 目 標	事 業 名 と 金 額
子どもの成長と 生涯にわたる学びのまち	①子ども手当・児童手当支給事業 26億2316万円
	②(仮称)新曽小玉保育所・(仮称)新曽稲荷保育所設置事業 2億2632万円
	③こども医療費支給事業 1億7875万円
誰もが健康で いきいきと生活できるまち	①上戸田福祉センター再整備事業・障害者施設整備事業 17億2196万円
	②障害者福祉サービス事業所「わかくさ」移転新築事業 3億8030万円
	③障害児放課後児童クラブ等新設事業 3億6452万円
安心して安全に暮らせるまち	④市民医療センター等施設整備事業 (完成予想図 2p参照) 1億9123万円
	①防災備蓄品整備事業・有害物質除去事業等 7886万円
	②消防車両整備事業等・耐震性防火貯水槽整備事業 6539万円
緑と潤いのあるまち	①公園施設整備・改修事業 1億4614万円
	②温暖化対策推進事業 3270万円
	①北戸田駅前地区建築物等整備事業 12億3338万円
快適で過ごしやすいまち	②さくら川整備事業・辺島橋架け替え事業 2億6232万円
	③合流式下水道緊急改善事業 2億1904万円
	①産業立地推進事業 6788万円
活力と賑わいを創出できるまち	②住宅改修資金助成事業 150万円
	①電算室移転事業 2億 724万円
	②町会会館整備事業 2688万円
人が集い心ふれあうまち	①庁舎耐震改修等事業 6億8586万円
	②戸田公園駅前行政センターバスポート申請・交付事業 4114万円

委員会の審査から

こんな質問、あんな意見もありました

総務

※各常任委員会の所管部署
政策秘書室・総務部・財務部・
会計課・行政委員会事務局等

起債と基金の バランスがとれた財政運営に

【戸田市民税条例の一部を
改正する条例】

平成26年度から10年間の個人市民税の均等割500円加算分の使途について、執行部から、本市の防災関係事業に活用するとの説明があり、委員から、非常時の徴税なので、説明責任を果たすため、予算上の処理を工夫してほしいとの要望がありました。

【24年度予算】

歳出の企画費では、執行部から、公共施設マネジメント白書と再編方針づくりについて、他課の調査と連動しながら利用状況や経緯を踏まえ、25年度に再編方針の作成を予定しており、執行体制も併せて考えたいとの説明がありました。また、自治基本条例制定のスケジュール案について、24年度は市民講座や市民とともに地域課題等を検討する市民協働ワーキング等を開催し、25年度は市民会議を中心に条例案を作り、26年度にはパブリック・コメントや条例案の上程を予定しているとの説明がありました。



▲公共施設マネジメント白書の対象となる市の施設（戸田市文化会館）

防災費では、委

員からの質疑に対し、防災計画においては、津波を前提とはしないが、県において津波の被害想定の見直しを検討しているの、注視するとの説明がありました。

文教・建設

都市整備部
教育委員会

伝統文化を残すために 適正な補助を

市債の公債費では、委員から、起債の借入れ利率と、基金の預金利率等バランスよく財政運営してほしいとの要望がありました。

【24年度予算】

緑化対策費では、戸田市民生き物マップづくりについて質疑があり、執行部から、水と緑のネットワーク形成プロジェクトの一環として取り組む事業であり、生き物のデータをマップに落とし込んでいくことで、子どもたちの宿題や自由研究などに活用してもらうことができるのではないかと回答がありました。

心理専門員等のカウンセリ
ングや、各学
校間で情報を
共有化して対
応する取り組
みが効果にあ
らわれている
との回答があ
りました。



▶下戸田まこも獅子舞（市指定文化財）

健康福祉

福祉部・こども青少年部
福祉事務所
市民医療センター

福祉保健センターの 相談機能の充実図れ

【24年度予算】

成人保健事業費では、福祉保健センターの相談支援事業について、心の相談など、幅広く相談に応じ、解決策を確実に見出していくべきではないかという質疑に対し、問題の解決に向けて、連携を図りながら、的確な支援につなげていきたいとの回答がありました。



▲福祉保健センターの相談窓口

市民生活

市民生活部
消防本部
上下水道部

あらゆる状況を想定した消防 団員の安全管理マニュアルを

【介護老人保健施設事業
特別会計予算】
介護老人保健施設の待機者解消についての質疑に対し、施設入所者の

在所日数の増加により、徐々に待機者がふえてきているため、稼働率を上げて、減らしていきたいとの回答がありました。

消防費の非常備消防費では、消防団員の安全管理について質疑があり、執行部から、本年8月を目途に出される消防庁の検討会での協議結果を参考に、戸田市に適したマニュアル作成等を検討していきたいとの回答がありました。委員からは、様々な状況に応じた安全管理マニュアルを作成してほしいとの要望が出されました。

議にて協議をし

ていとの回答

がありました。

【暴力団排除条例】
市民からの情報提供について質疑があり、執行部から、情報提供者に危害が及ぶ可能性がある場合は、埼玉県暴力団排除条例に基づき、警察に保護を要請していくとの回答がありました。

【24年度予算】

総務費の行政振興費では、ふるさと祭りの会場について質疑があり、執行部から、市役所周辺に会場を戻すにしても、庁舎耐震改修工事の影響等、多くの課題があり、これについて、現在、戸田ふ

るさと祭り中長期構想会



▶消防団員による訓練の様子（消防本部）

市民医療センターに救急診療所の開設運営は

「基本的には高齢者の対応」



志政クラブ 石井民雄 議員

議員 本市の救急医療体制の充実、市民の安心感の向上の意図から、非常に重要。そこで、どの程度の対応と体制を構築されるのか伺う。

市長 基本的には、高齢者の内科疾病患者の受け入れを予定。対応として、救急患者受け入れは、24時間通年、平日の昼間は常勤医師及び常勤看護師で、休日と夜間は非常



▲市民医療センターに救急診療所を開設

勤医師と常勤看護師で、常勤医師と連携して対応する。スタッフの勤務体制は、現状を変更せずに実施予定。

市長 昨年末現在の本市の特別会計を含む15

債務圧縮への基金の活用について

議員 債務残高の圧縮は精力的に取り組むべき事項であると考えますが、いかがか。そこで、現在の基金残高は、どれくらいあるのか。また、債務残高の圧縮のため、基金を活用することについて伺う。

市長 基金の残高は約123億円。また、市債務残高の合計は約466億円である。起債に過度に依存せず、適正な範囲での起債と、計画的な基金の活用を努め、市債務残高と基金残高のバランスを保ちながら、健全な財政運営を継続してまいりたいと考えている。

震災を踏まえ、本市の災害への準備・対応は

「東京湾北部地震を想定し行う」



平成会 秋元良夫 議員



「いざというときのために」
(男女小中学校での防災訓練)

議員 ①地域防災計画改訂の方向性、首都直下型地震の反映は②情報提供と、バックアップ体制の構築を。

市長 ①発災時の初動、時間経過ごとの対応を明確化、現計画の不足部分を補う。本市に最も影響が大きい東京湾北部地震を想定し、改訂する②市民の情報取得の

実態に合わせ情報提供を進める。バックアップ体制の構築は、他の自治体や民間の公共専用ミラーサイト活用など、幅広い検討を進める。

自治基本条例制定は

議員 条例制定の成否の鍵は、市民の積極的な参加による制定プロセスの活性化にある。制定の仕組みづくり

放射性物質への対応状況と、機器の増設を

市長 ①市職員意識改革と庁内推進体制の設置②市民講座等の、市民が学ぶ機会を設定③市民と団体等、市職員による協働ワーキングの実施④市民会議による条例素案の作成等、市民の共感を促しながら制定を進める。

議員 給食等の検査体制の準備状況は、いかがか。測定機器の増設が必要。早急に調達を。

市長 新規2台の機器で、新基準値による測定を開始。増設は8台を調達。1台は高精度の機器とし、10台を給食センターと単独調理場に配置、迅速な検査体制を構築する。

低年齢児に重点化した保育園開設を

「0～2歳が85%。課題と認識」



公明党 神谷雄三 議員

議員 市では毎年、保育園を開園しているが、ニーズに合っていないのか、低年齢児に待機が出ている。低年齢児に重点化した保育園を開設してはどうか。

市長 待機児のうち0歳から2歳が85%を占めており、課題であると認識している。今後は認可保育園の増設を基本とし、低年齢児の枠拡大に努め

市長 本年度、県が調査した。戸田市民は205人で、うち介護

特別養護老人ホーム 特別養護老人ホームは多くの待機者がいるが、重複申し込みがある。名寄せをして実数をつかみ、施設整備の参考にすべきた。

戸田交響楽団を生かす

議員 シティセールズに市政策研究所が取り組んでいるが、足元にいいものがある。長年活動している戸田交響楽団を生かすため、研究してはどうか。

市長 戸田交響楽団は都市イメージの向



▶戸田交響楽団の定期演奏会

「減災」で基金設置を

議員 減災対策用の基金を設け、市民の安心材料の一つとしては。

市長 既にある基金との役割分担を含め、研究していく。

総括質問

総括質問とは、新年度の施政方針または市長就任時に行われる所信表明に対する質問で、2人以上で構成する会派による代表制質問のことです。

今定例会では、3月2日の本会議において、4人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをいただきました。

なお、施政方針の内容は、4月1日号の「広報戸田市」に掲載されていますので、あわせてご覧ください。



▲4月1日に開園した「太陽の子 戸田保育園」



▲市内には桜を鑑賞できる場所がたくさんあり、ずっずと見ていると穏やかな気持ちになります。(喜沢の桜)

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では3月6日、7日、8日の3日間にかけて、14人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。

そとがききたい

市民生活部長 今後、在は青少年の検査者もなく、市内に薬物が入り込んでいないようだが、地域的には大変危険な地域との話もある。まずは市民への情報提供と相談窓口の準備をしようか。



▲障害のある方たちが働く作業所「Cafe こるぽ」(福祉保健センター内)

後、市独自の制度を今の検討課題としていく。

市民生活部長 市には薬物乱用防止の担当はない。

議員 戸田市では、現在、問題となっている脱法ハーブについて、市としては、どのように対応していくのか。

議員 戸田市は若い世代が多く、さまざまなストレスを抱えて生活していることが多い。そのような中、パソコン等により容易に入手しやすい脱法ハーブは、大変危険である。市として市民の安心・安全を守る観点からも積極的な対応を要望する。



脱法ハーブ

薬物への対応は

「関係機関と連携していく」

富岡節子議員

障害者雇用促進の取り組みは、戸田市は障害児・者の学ぶ場、育成の場は充実しているようだが、働く気持ちがある障害者が安心して働ける環境を整えるための取り組みはあるか。

こども医療費の無料化を3カ月早くできないか

「システムの改修があるので難しい」



日本共産党 望月 久晴 議員

議員 食料用の放射線測定器の購入について、補正予算、予備費など対応がバラバラで、他市と比べ結果的に納入が遅れていた。統一して迅速な予算執行ができないのか。水循環センターの放射能汚染された焼却灰の処分はできないのか。放射能汚染について市民に対し説明会を開

放射能対策の充実

市長 国保財政は本来に厳しい状況で、値下げはできない。国・県の支援がない中、市単独では難しい。

議員 国保税は高過ぎる。一般会計からの繰り入れをふやし、引き下げできないか。生活に困窮している高齢者に、家賃補助制度をつくれな

国保税の引き下げを

催できないか。**市長** 今後、迅速にできるよう努力する。県と民間の処分業者との合意ができ、一部搬出が始まった。市民が安心して生活できるよう、市民を対象に講演会の実施を検討していきたい。



▲食料検査用の放射線測定器

『国民の信頼を得ることが大事』

議員研修会を開催

議会では、毎年、見識を広げるために全議員を対象に政治や経済など、各界から講師を招いて研修会を開催しています。

平成23年度は、1月23日に、テレビ朝日コメンテーターの三反園 訓氏を講師に招いて、「どうなる日本の政治・経済！東日本大震災後の今後の日本を読み解く」と題して



▲講師は三反園 訓氏

開催しました。同氏は、政治記者として自民党時代の歴代総理大臣をはじめ、与野党要人の海外同行取材なども数多く経験されておられます。講演では、歴代総理大臣との色んなエピソードなども織り交ぜながら、今後の政局についてお話しされ「これからの政局を安定に保つには、国民の信頼を得ることができ、政治的なことであり、政治家みずから身を削り国民にお願ひすることである。そして、厳しい時代だからこそ、夢・希望・勇気を持ち、想像を働かせて取り組むことである」とのお話があり、今後、議員活動をしていく上で、大変有意義な研修会となりました。

一般質問

熊木 照明 議員

小・中・高校生の
自転車運転中の事故は

「特定難しいが18件」

携帯電話

議員 ① 埼玉県道 交通安全法 施行細則の一部改正により自転車の遵守事項が改正され、携帯電話等を使用しながらの運転が禁止されたが、市内の、特に学生による携帯電話使用中の自転車交通事故の現況は②小中高校生の自転車交通ルールなどの指導をしっかりとお願いしたい



議員 ① 埼玉県道 交通安全法 施行細則の一部改正

いが、24年度の講習会等の開催予定は。

画像注視

協見運転

漫然運転

通話

危険！！

▲自転車運転中の携帯電話使用は危険
(長野県警本部提供)

な子供から高齢者まで、しっかりと安全対策強化をしてもらいたい。

庁舎内、空きスペースに喫煙ルームを

議員 旧法務局跡地建物に部署移転後、あいたスペースに喫煙ルームを設置しては。

新曽南の大規模マンション建設について

議員 小中学校への影響はどうか。

議員 児童生徒の受け入れに問題はなく、通学路等の安全確保にも努める。

知方法やあり方について検討していく。

損害賠償

放射能汚染対策での
支出を東電に請求すべき

「効率的で有効な方法を検討する」



議員 放射能汚染対策としての支出額はどれくらいか。放射能汚染対策での支出を東電へ

議員 請求すべきではないか。

議員 賠償請求について市長の見解は。

議員 賠償請求について市長の見解は。

議員 納税相談者から「脅されているようだ」等の声が出ている収税推進室の相談窓口正面にある差し押さえ件数を書いた掲示物は、撤去すべきである。



▲差し押さえ件数を周知する掲示物

岡崎 郁子 議員

検査体制強化し
安心できる給食を

「測定器をふやし、全校で検査する」



議員 市が12月議会後に測定器の購入台数をふやし、全校で事前検査できる体制をとったことに感謝する。今後の検査内容は。

議員 保育園や幼稚園の給食検査は。

議員 保護者に十分、情報を知らせては。

議員 笹目地域には、防球ネットのある公園がない。既存の公園の再整備も含めて検討を。



▲青少年の広場（本町）

地方分権

地域主権型道州制に
対する考えは

「賛成、進めるべきである」

馬場 栄一郎 議員



議員 衆議院解散総選挙が騒がれる中、「地域主権型道州制」を政策に掲げる政党が注目

議員 道州制は、賛成である。中央集権的な

議員 どのような道州制をお考えか。

議員 推進すべきとお考えか。

その他の質問

▲相談窓口を一本化し、各課連携して対処する。

▲空き家対策を。

市長 落ち込んでいる国を活性化させるには、大変よい方策であり、道州制は進めるべきであると考えている。

防災対策

災害時に行政と
議会の連携・協体制を

「効果的な情報共有を研究する」



議員 災害時の行政と議会の連携・協力が大事と思う。しかし、議会及び議員の役割は何も決まっていないのが現状である。例えば議

議員 長が議会の代表として災害対策本部の一員として参画できれば、行政と議会が一体になって早い復旧・復興につながると思うが、どうか。

総務部長 災害対策本部への議会の参画や連絡体制の構築など、今後、効果的な情報共有を研究していく。

議員 災害対策本部の機能強化を図れ

議員 東日本大震災の震度5強で市庁舎5階に対策本部を設置すること



▶震災後、情報発信のために立ち上げた「南三陸災害エフエム」

三浦芳一議員

環境問題

カラスが街を汚している

「ごみ出しの改善策を講じたい」

細井 幸雄 議員

議員 カラス対策は即ちごみ対策と言える。カラスネットは一定の効果を出しているが、ネットからごみが見えたりネット上に捨てられている光景も見られる。カラス対策は即ちごみ対策と言える。カラスネットは一定の効果を出しているが、ネットからごみが見えたりネット上に捨てられている光景も見られる。

議員 ラスが、ごみ集積場を荒らし、あたりにごみを散乱させ、ふんで周辺を汚す。市はどのような対策を講じてきたか。

カラスネットです
こんなに違います



外国人には管理会社や各衛生自治会を通じ外国語版パンフレットの配布を徹底し、さらなる周知を図っていく。

議員 集合住宅のごみ集積場には扉がないものがあり、カラスの横暴を許している。

議員 計画性を高め、学校敷地の有効活用を

議員 新習中学校は土地区画整理事業後、敷地面積がふえたが、利用状況に一部不明な点がある。

議員 それらは来訪者用駐車場、雨水貯留地、緑地として計画した所である。今後さらなる有効活用を図る。

一般質問

知名度向上

交流人口拡大と
シティセールスの取り組みは

「東京オリンピックも視野に準備中」



議員 社会の高齢化に伴う収入減少、財政源不足額を戸田市政策研究所の試算では2035年に約35億5千万円と報告している。人口の硬直化回避と若い世代の定住人口増を目指し、き

議員 夜間の震災発生を想定したとき、避難所までの安全な移動を助けるための光源による避難誘導灯の設置はどうか。阪神大震災の例でも、災害時、多くの避難民の受け皿に予想される近隣公園の防災機能充実への考えはどうか。

議員 夜間の震災発生を想定したとき、避難所までの安全な移動を助けるための光源による避難誘導灯の設置はどうか。阪神大震災の例でも、災害時、多くの避難民の受け皿に予想される近隣公園の防災機能充実への考えはどうか。

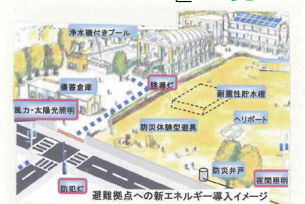
鈴木麗子議員

か、東京オリンピック等の機会があれば積極的に取り組みたい。

議員 現在、日本ボート協会等の関係機関が、彩湖をボート競技会場に提案するための準備を進めている。

議員 夜間の震災発生を想定したとき、避難所までの安全な移動を助けるための光源による避難誘導灯の設置はどうか。阪神大震災の例でも、災害時、多くの避難民の受け皿に予想される近隣公園の防災機能充実への考えはどうか。

議員 夜間の震災発生を想定したとき、避難所までの安全な移動を助けるための光源による避難誘導灯の設置はどうか。阪神大震災の例でも、災害時、多くの避難民の受け皿に予想される近隣公園の防災機能充実への考えはどうか。



▲兵庫県加古川市の例

手塚 静枝 議員

補強工事費の増額と
意向調査で耐震化促進を
「補助制度要綱の見直しを検討する」

議員 関東直下、地震が4年以内に50%の確率で発生するとの予測を受け、防災対策のさらなる推進が必要と考える。①耐震化促進のために、補強工事の助成額の増額と融資制度の創設。また、郵送にて診断意向調査を行い、その上で診断士を派遣しては②音声による119番通報が困難

な方のために、携帯電話で外出先から通報できる「緊急Web通報システム」の早期導入を③震度6以上で自動開錠する「地震自動オープン錠」を防災備蓄倉庫に設置しては④女性の視点を生かし、防災力向上となる防災パンフレットの作成は。

議員 ①制度活用が図られるよう、補助制度要綱の見直しについて、財政面を含め検討する。また、意向調査も地域を特定



その他の質問

議員 電気料金削減に向け特定規模電気事業者（PPS）の導入を。

議員 買い取る電気がない。さらに情報を収集し、導入のタイミングを図る。



防災力強化

▶女性の視点を生かした防災パンフレット（公財）横浜男女共同参画推進協会・横浜市長民、大分県生活環境部提供）

一般質問

中名生 隆 議員

直下型地震未対応の
下水処理場緊急改修を

「25年度に工事が予定されている」

耐震化

議員 原 発事故により、荒川水循環センター内にセシウムを含む焼却灰が多量に保管されている。昨年の地震で、水処理施設のひび割れや、配管、機械設備で微漏れ等、損害があった。首都直下型地震の致命的なダメージで、未処理水の流出で公衆衛生被害や、荒川土手

の破壊や多量の雨水等の災害で、セシウム焼却灰の流出等の大惨事が想定される。緊急的な改修工事対策を県に要望すべきである。

上下水道部長 早急な改修が必要で、池構造物等のつなぎ目や流入管の接合部を25年度から県が実施する予定と聞いている。中長期的耐震計画、下水汚泥焼却灰の管理を県と連携



を、市民の安心・安全に努めていきたい。

防災備蓄用飲料水を市民に

力を依頼してどうか。

総務部長 ①防災備蓄用飲料水の無償提供は、防災意識高揚につながる。すべての飲料水の賞味期限を把握し、イベント等で配布するシステムを上下水道部と協議していく。

上下水道部長 ②業者に聞いたが、製造ライン上、困難との回答だった。

修学旅行

栃木・日光の
安全確認は

「食材の産地等、事前に調査する」



議員 日光市は汚染状況重点調査地域であり、日光への修学旅行には不安の声もあり、どう

安全を確保するのか。

教育部長 教員が事前に現地調査して、宿泊先の食材の産地の確認、空間放射線量の測定など、安全性を高め



▶日光東照宮

強風時は校庭の使用を控えては

議員 強風時は土ほこ

りと一緒に放射性物質も舞い上がり、児童生徒が吸い込み、内部被曝を受ける危険がある。強風時、校庭での体育等の授業は差し控えるべきではないか。

トコバス年末年始も運行を
議員 トコバスの年末年始の運休をなくせな

市民生活部長 運転手確保が難しい。他市のコミュニティバスも運休している。

市民生活部長 トコバスは喜沢循環、川岸循環だけでなく、他の路線も含めて総合的に考え、検討する。

酒井 郁郎 議員

目的を果たしていない
ものは統廃合すべき

「先進事例にならない、研究したい」

審議会



議員 何の議題もない審議会が開催され、委員報酬を初めとした開催費用が無駄に費やされている。

審議会等を維持するために、年一回くらいは開催しなくてはならないという考えは、民間の納税者としては受け入れがたい感覚である。目的を果たしてい

ない審議会は統廃合を行うべきではないか。

総務部長 行政改革の観点から、審議会等の見直し的重要性は感じている。廃止や見直しも見据え、運営の統一基準等、指針を定めて対応したい。

適正な受診の啓発を強化してはどうか

議員 子供の医療費の

市においては教室不足も心配されることから、法改正の趣旨を踏まえ、具体的検討をすべきである。

教育部長 文部科学省

の8カ年計画は提示されているものの、国の財政などの状況から、計画は2011年度実施のみでとどまっている。今後の方向性については、また文科省で検討されている段階。

少人数学級

文科省の推進
8カ年計画の検討を

「国・県の動向を注視したい」



議員 011年4月、国会において法改正が行われ、小学校1年生の学級編成基準は35

人以下となった。文科省が、今後6カ年で小中学校の35人以下学級、次の2カ年で小学校1・2学年を30人以下学級とする8カ年計画を示している。戸田



▲廃止が予定されている上戸田福祉センターのお風呂

議員 共産党市議団は、上戸田福祉センター再整備基本計画策定に当たって、意見を広く聞き、より利用される施設となるようアンケートを実施した。お風呂廃止について、残した方がよいとの回答が75件33%あっ

上戸田福祉センター再整備について

た。こうした声にどうこたえるか、再検討の考えは。

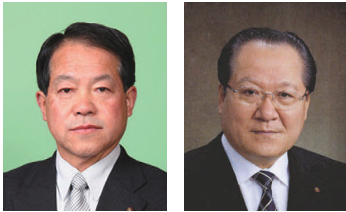
福祉部長 お風呂については、社会環境の変化や利用状況、経費やスペースなどを勘案した結果、廃止の方向に進めている。今後は、入浴機能に頼らない新しい機能を取り込むことで、高齢者が集いやすい、交流・生きがいの拠点を整備したい。



▲民間団体「県立柏原病院の小児科を守る会」（兵庫県）が作成した啓発グッズ

のチラシを同封する。

私たちが正副議長です



議長 平野 進 副議長 三浦 芳一

戸田市議会では、市民の皆様へ信頼される議会をめざし、本年2月に議会基本条例を制定いたしました。開かれた議会、わかりやすい議会を目指すとともに、12万市民の信託に応え、市民福祉の向上と公正で民主的な市政の発展、そして市民の皆様が議会に対して関心をお寄せいただけるよう、全力で取り組んでまいり所存でございます。今後とも、皆様方のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成24年
2月
臨時会議会基本条例を可決
議長選挙はくじ引きにより決着

臨時会が2月6日、7日の2日間開かれ、委員会提出議案の「戸田市議会基本条例」と意見書1件を可決、また、報告1件を承認し、その後、役職改選が行われました。→「議会基本条例」は議会だより No.172 を、意見書は5p 参照

役職改選では、伊東議長の辞職願が許可された後、議長選挙に係る所信表明会が開催され、平野進議員と山崎雅俊議員の2人がそれぞれの所信を表明いたしました。そして議長選挙を行った結果、同数となり、くじ引きの結果、平野進氏が議長に当選しました。

また、鈴木副議長の辞職願が許可され、副議長選挙を行った結果、三浦芳一氏が副議長に当選しました。

【議長選挙結果】

平野 進 12票

山崎雅俊 12票

【副議長選挙結果】

三浦芳一 20票

花井伸子 4票

その後、常任委員等の各種役職選出を行い、さらに、議会選出の監査委員として、召田厚氏の選任に同意しました。

→役職名簿 下段参照

都市ビジョン

施設の計画は都市計画に沿って行われているか

「庁内で検討し計画を実行している」

地域に福祉施設の計画を行う、風俗営業法が許可される商業地域に教育施設を計画するなど、周辺との調和を考えた計画を行っているとは思えないがどうか
②これらの施設は、都市計画のビジョンに沿い、地域にあわせて建物として計画されているか
③ファシリテイマネジメンツ的に見た効果や、その土地の持つ様々な価値などを考慮した施設の規模として計画しているのか。

市からの情報をテレビで見られないか
議員 聞き取りづらい
防災行政無線や、市からのお知らせ、災害時の情報など、パソコンがなければ見られない市のホームページや、時間的にずれのある広報だけではなく、テレビですぐに、いつでも情報がえられるようにできないか。

総務部長 正確に・タイムリーに・誰でもが情報を得られるよう、調査・研究していく。

財政部長 ①②③施設の計画を行う際には、市の所有する土地に関し、都市計画やその敷地の用途地域、価値を考慮した規模、その地域にふさわしい施設なのかを庁内各部署連携して決定している。

市からの情報をテレビで見られないか
議員 聞き取りづらい
防災行政無線や、市からのお知らせ、災害時の情報など、パソコンがなければ見られない市のホームページや、時間的にずれのある広報だけではなく、テレビですぐに、いつでも情報がえられるようにできないか。



▶上野田ふれあい広場

一般質問

●「議会だより編集委員会」から「議会広報委員会」へ

区分	正副委員長		氏名									
	正	副										
常任委員会	総務	遠藤 岡 寄	平野 神谷 石井 秋元							監査委員	召田	
	文教・建設	馬場 手塚	榎本 細井 望月 伊東									
	健康福祉	召田 富岡	花井 熊木 中名生 山崎									
	市民生活	鈴木 本田	酒井 三浦 斎藤 栗原									
特別委員会	交通対策	石井 細井	鈴木 酒井 岡 寄 花井 手塚 馬場 榎本 熊木									
			斎藤 本田 中名生 伊東 秋元									
	議会改革	山崎 三浦	富岡 召田 遠藤 望月 神谷 栗原									
議会広報		神谷 召田	岡 寄 馬場 斎藤 本田 中名生 伊東									
	議会運営委員会	熊木 遠藤	召田 花井 手塚 神谷 山崎									
一部事務組合	就労組合議会 (議長 神谷)	鈴木 富岡	酒井 手塚 榎本 熊木 細井 本田 望月 神谷									
		栗原 石井	伊東 秋元									
	衛生センター組合議会 (議長 遠藤)	召田 平野	岡 寄 花井 三浦 馬場 遠藤 斎藤 中名生 山崎									

全議員で、議会だよりを駅頭配布

「戸田市議会基本条例」掲載版

議会改革特別委員会では、平成22年6月から、将来にわたって市民の信託に十分にこたえ、市民福祉の向上と市政の発展に全力で取り組んでいくため、議会基本条例の制定に向けて検討を重ねてまいりました。その結果、平成24年2月6日の臨時会・本会議で「戸田市議会基本条例」を全議員一致で可決し、公布・施行いたしました。

戸田市議会では、このことを広く市民に知っていただくため、「とだ議会だより 特別号」を作成し、3月1日・2日の2日間、夕刻に、全議員が市内3駅に赴き、議会だよりを配布いたしました。今後、議員間討議で議会の意見を集約するなど、信頼される議会を目指してまいります。



23年

常任委員会の年間活動成果

委員会は、議案や請願の審査のほかに、所管の範囲で調査事件を定め、能動的に市政に関する調査活動を行うことができます。本市議会では、常任委員会ごとに具体的な年間活動テーマを決め、原則、毎月1回委員会を開催し、行政に対し意見、政策提案をしています。

総務委員会

多くの市民参加と意見で、自治基本条例の制定・運用を

総務常任委員会では、年間活動テーマを「自治基本条例について」と決定し、今後戸田市で制定する予定である自治基本条例についての進め方や考え方に係る提言等を行うため、先進地の事例等を調査・研究してきました。

まず、平成23年5月に視察した滋賀県米原市及び愛知県東海市の検証結果としては、自治基本条

例の制定に当たり「地域を知り、何を大切にしてどのような方向を目指すのか」という観点が重要であることや、基本条例が「総合計画」を実現するための手段となる運用方法が、本市でも参考とすべきであることについて意見がありました。

次に、11月に視察した三重県四日市市及び岐阜県多治見市の検証結果としては、自治基本条例制

(仮称) 戸田市自治基本条例
制定に向けての提言書 その2

平成24年1月
戸田市議会 総務常任委員会

定時だけでなく、制定後の市民参加等も重要であることや、市独自の内容を条例に盛り込むこと、職員が有志で勉強会をしていることは、本市でも参考とすべきであることについて意見がありました。

そして、それぞれの視察の検証結果を踏まえ、執行部との意見交換を行うなど、全11回の委員会活動を実施した結果、

①自治基本条例の過程
②条例の内容
③条例制定後の運用

以上3点が重要なポイントであるという認識に至り、提言書を作成し、執行部に提出しました。なお、題名については、平成22年1月28日付で、総務常任委員会より、「(仮称)戸田市自治基本条例」を執行部に提出しており、それを踏まえて本提言書を作成したことから、「(仮称)戸田市自治基本条例制定に向けての提言書その2」となりました。

提言書の概要として、

①自治基本条例の制

定過程において、多くの市民を巻き込み、意見を聞いたうえで条例制定の体制を整備するべく、従来の公算型だけでなく、市民が自由に参加できる方法など、新しい取り組みを検討すること。

②条例の内容については、戸田市として何を大切にし、どのような方向を目指すのかという視点から、独自性のある内容を盛り込むよう検討すること。

③運用面については、自治基本条例を生きたものとするべく、制定後の市民の巻き込み方や、関連する条例の整備など、スケジュールを立てて進捗管理を行うこと。

以上3点を提言し、結びとして、職員の意識改革、高揚に向けての方法

も検討すべきであるとしています。

最後に、年間活動テーマの成果ですが、自治基本条例に係る先進事例や戸田市の状況や問題点などを委員間で共有できたことが挙げられます。今後は、自治基本条例制定に向けて、市民会議等が開かれる予定ですが、条例がより意義のあるものとなるよう取り組んでいた点とともに、今後の動向も注視したいと思います。



文教・建設委員会

快適でしやすいまちの実現に向けて提言

「児童生徒数の推移と学校施設整備について」と「戸田市のマンション政策のあり方」の2つを年間活動テーマとし、調査研究を進めてきました。

【児童生徒数の推移と学校施設整備について】

児童生徒数の推移を把握するため、執行部から説明を受けました。その中で、児童生徒数は思ったほど増加していないことがわかり、早急に調査研究の必要性は見出せないという結論に至りました。

【戸田市のマンション政策のあり方】

先進地の視察として、兵庫県宝塚市の開発まちづくり条例と東京都江東区のマンション対策を視察しました。その後、こ

れらの視察を踏まえ協議した結果、「マンション政策のあり方」についての「提言書」を作成し、執行部へ提出しました。

この提言書は、5つの観点から成り立っています。概要は次のとおりです。

①条例と要綱の二本立て
宅地開発等指導要綱の条例化を行い、その条例をフォローする役割と

して要綱も新規に策定し、条例と要綱の二本立てによる運用を検討すること。

また、特色のあるまちづくりを事業者とともに作り上げていくために、必要とされる都市インフラを整備できる条項を検討し、その施設整備の財源にある目的として、協力の金の復活を検討すること。

②まちづくり
マンション建設は、コミュニティ形成、公共施設や高齢者への対応など、まちづくりの観点からも考えていくべきものといえる。

公共施設は、大型マン

ションが1棟建設されただけでも、人口が増加し影響を及ぼすことから、動向を十分に注視すること。

高齢者への対応としては、利便性の向上を図るために、今後もバリアフリー化の整備や、コミュニティ形成のために、多世代の入居をイメージした支援策を推進すること。

③庁内の連携体制
庁内の連携が必要不可欠であることから、マンション建設の事案等が発生した場合には、検討会議を実施するなど、連携体制の強化を行い、職員の業務意識の向上を図ること。

④既存マンション対策
既存マンションの老朽化に対する支援として、マンション管理組合への助言体制の構築や、耐震性などの調査実施の検討をすること。

⑤ワンルームマンション対策

近年、ワンルームマンションは増加傾向にあり、住民登録をしないまま居住し続けているケースなど、さまざまな問題を抱えている。よって、ワンルームマンション建設の場合には、着工の段階から問題に発展しないよう、必要な措置を検討すること。

また、多世代の入居に対応できるよう、間取りの多様化やバリアフリー化の整備を推進すること。



マンション政策のあり方について
の提言書



平成24年1月
戸田市議会 文教・建設常任委員会

健康福祉委員会

高齢者が元気でいきいき活躍できるまちづくりに向けて

当委員会では、高齢者が心身ともに健やかで、質の高い人生を送ることができ、平成23年3月から調査・研究を進め、その結果を「高齢者が元気でいきいき活躍できるまちづくり」に向けての提言書」として取りまとめました。

提言書では、介護が必要になっても安心して暮らせる仕組み（環境の整備）と、元氣な高齢者の健康寿命を延ばす取り組み（サービス等の充実）について、7項目を掲げ、必要な措置を講じ、必要事項を要望しました。提言項目の要旨は、次のとおりです。

「1環境の整備」

(1)従来の縦割り行政の打破

(2)生涯のそれぞれの時点で、どのようなサービスが受けられるのか、

全体を見渡すことができるよう福祉サービスの整理・検証を行うこと。②福祉相談や申請受付等のワンストップサービスの実現に向けて検討すること。

(2)個人情報保護のあり方の見直し

町会や自治会などの関係機関に名簿を提供して、見守り活動や安否確認を行っている先進事例を調査・研究し、個人情報保護のあり方の見直しを行うこと。

(3)地域包括支援センターの体制強化

①きめ細やかな訪問や関係機関と密接な連携ができるよう、地域包括支援センターに十分な職員を配置すること②市立地域包括支援センターに「美笹地区あんしんネットワーク」が発足したが、ほかの地域包括支援センターにおいても、あんしんネットワークの構築を推進すること③地域包括支援センターを、より身近な相談窓口とするため、受称を募集すること。

(4)成年後見人制度の活用

後見人が、本人に代わって財産管理等を行う成年後見制度が活用できる態勢を整備すること。

「2サービス等の充実」

(1)介護支援ボランティアの検討

高齢者が介護支援ボランティア活動を通じて、介護予防を推進するとともに、元氣な高齢者の増加により、いきいきとした地域社会となることを目指す「介護支援ボランティア制度」の導入を検討すること。

(2)まちなかサロンの整備

空き店舗等を活用し、高齢者を初め、さまざまな人が集い、交流することができ「まちなかサロン」の整備を検討すること。

(3)富山型デイサービス

の普及に向けて高齢者、子供、障がい者などが、障害の有無や年齢にかかわらず、住み慣れた地域においてデイサービスを受けることができる「富山型デイサービス」について、支援を含め、調査・研究し、普及に向けて検討すること。



市民生活委員会

省エネの観点から取り組む地球温暖化対策を提言

「戸田市中企業振興条例」に基づく中小企業振興会議のあり方について」と「戸田市地球温暖化対策実行計画の推進について」の2点を年間活動テーマとし、活動してきました。

「戸田市中企業振興条例」に基づく中小企業振興会議のあり方について」平成23年7月に設置された中小企業振興会議について、執行部より、同会議の委員構成や、7月以降、計3回の会議が開催され、市長に対し提言を行ったことなどの報告を受けました。

当委員会として、同会議設置後の開催状況等を十分に把握していなかったことから、委員会提出議案として制定した条例でもあるので、今後、委

員会としても同会議をフォローしていく必要があるとの意見で一致しました。

「戸田市地球温暖化対策実行計画の推進について」

5月、11月に行政視察を実施し、地球温暖化対策の先進事例を視察したほか、7月にはエコライフDAYと実行委員会

委員長をお招きし、エコライフDAYについて、市民の参加状況や今後の展開など、貴重なお話を伺いました。

また、東日本大震災により、節電に注目が集まる中、テーマの方向性に関し、協議を重ね、CO₂削減と同意である「省エネ」の観点から市民、事業者が一丸となって取り組める地球温暖化対策を提言することで一致しました。

その成果として、「戸田市地球温暖化対策実行計画の目標達成に向けた提言」を作成し、執行部に提出しました。

提言内容は、7項目に

戸田市地球温暖化対策実行計画の目標達成に向けた提言



平成24年1月
戸田市議会 市民生活常任委員会

わたります。

①「見える化」によるエコライフの促進

環境家計簿の導入を提案しています。

②CO₂買い取り制度の創設

CO₂削減にインセンティブを付与する制度を提案しています。

③集合住宅に対する太陽光発電システム設置補助制度の導入

集合住宅への補助拡大を提案しています。

④HEMS導入に対する補助制度の導入

家全体のエネルギーを最適化するHEMSの導入補助を提案しています。

⑤太陽光発電システム、エコキュート、蓄電池等の個々の有益性の強化に向けた導入コストの負担軽減

無利子の融資制度等、3つの負担軽減策を提案しています。

⑥省エネと温暖化防止対策と財政負担の軽減の同時達成が可能なESCO事業の市関連施設への導入と民間事業への周知



CO₂と光熱水費の削減効果が期待できるESCO事業の導入を提案しています。

⑦市民出資による自然エネルギー発電所の建設

より多くの市民が地球温暖化対策に関われる仕組みを提案しています。

また、これらの取り組みの財源として、戸田市環境対策基金の活用を求めています。

24年これが年間活動テーマだ！

- 総務・・・①防災のまちづくりについて ②自治基本条例 ③地方財政制度
- 文教・建設・・・①電子図書館の導入について ②空き家・空き地の適正管理について
- 健康福祉・・・①市民医療センターにおける経営の効率化とより良いサービスの提供について
- 市民生活・・・①安心・安全のまちづくりに向けた自転車条例について

議会日誌

1月

- ◎ 11日 文教・建設委員会
- ◎ 12日 総務委員会
県南都市問題協議会環境問題研究部会視察
- ◎ 13日 議会だより編集委員会／議会改革特別委員会
- ◎ 16日 文教・建設委員会／一区議員研修会
- ◎ 19日 健康福祉委員会／市民生活委員会
滋賀県守山市議会行政視察来庁
- ◎ 23日 議会だより編集委員会／戸田市議会議員研修会
- ◎ 24日 健康福祉委員会／市民生活委員会
県議長会役員会
- ◎ 25日 県南都市問題協議会都市計画・交通問題研究部会視察
- ◎ 26日～27日 一区議長会行政視察
- ◎ 30日 議会運営委員会／総務委員会／市民生活委員会

2月

- ◎ 1日 埼玉県議会行政視察来庁
- ◎ 6日 2月臨時会 本会議
- ◎ 7日 2月臨時会 本会議（正副議長の選挙等）
- ◎ 8日 京都府亀岡市議会視察来庁
- ◎ 9日 戸田競艇組合議会運営委員会
- ◎ 10日 東京都国分寺市議会視察来庁
- ◎ 13日 蕨戸田衛生センター組合議会運営委員会
- ◎ 14日 戸田競艇組合議会
- ◎ 15日 議会広報委員会／議会運営委員会
議会改革特別委員会
- ◎ 17日 総務委員会／文教・建設委員会
健康福祉委員会／市民生活委員会
県南都市問題協議会地方分権研究部会講演会
- ◎ 21日 蕨戸田衛生センター組合議会
- ◎ 22日 本会議（開会、施政方針、総括説明、詳細説明）
議会運営委員会
- ◎ 23日 本会議（詳細説明）
- ◎ 27日 戸田競艇組合議会
- ◎ 28日 蕨戸田衛生センター組合議会

3月

- ◎ 2日 本会議（総括質問）／議会広報委員会
議員互助会役員会
- ◎ 5日 本会議（議案質疑）／委員長会議／議会運営委員会
- ◎ 6日 本会議（一般質問①）
- ◎ 7日 本会議（一般質問②）
- ◎ 8日 本会議（一般質問③）／議会運営委員会
- ◎ 9日、12日、13日 総務委員会／文教・建設委員会
健康福祉委員会／市民生活委員会
- ◎ 14日 交通対策特別委員会／議会改革特別委員会
議会運営委員会
- ◎ 21日 本会議（委員長報告、討論、採決）



▲私たちがつくっています

（掲載した写真を差し上げます。詳しくは議会事務局まで）
本紙は環境に配慮し、再生紙と「大豆油インキ」を使用しています。

表紙写真の説明

春らんまん……4月9日に美女木小学校で行われた入学式。1年生74人の新たな門出を満開に咲く桜の花びらたちも祝福していました。友達たくさんつくってね。

本市の先進的な取り組みに、埼玉県議会も視察にきました

題字を書ってくれた人

とだ



字の大きさをそろえることと、一筆一筆のつながりに注意して書きました。これからたくさん練習して、もっと上手に書けるようになりたいです。

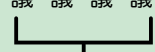
喜沢小学校 5年 和田 渚さん

傍聴席へどうぞ……………

議会の傍聴は、生で市政の動きを知る絶好のチャンスです。ぜひ一度、議場に足を運んでみてください。市役所8階の傍聴席入口で受付簿に住所・氏名などを記入すれば傍聴ができます。

3月定例会では、延べ48人の方が本会議を傍聴されました。

次回 6月 定例会の予定

4日	本会議		開会、議案上程、総括説明、
8日	本会議		詳細説明
11日	本会議		質疑、請願の提出、
12日	本会議		委員会付託
13日	本会議		
14日	本会議	一般質問	
15日	委員会	常任委員会	
18日	委員会	特別委員会	
22日	本会議	委員長報告並びに質疑、 討論・採決、閉会	

※日程は変更になる場合があります。5月28日の議会運営委員会内で決定しますので、議会事務局にお問い合わせください。また、議会ホームページでもお知らせしています。

議会事務局 ☎ 441・1800
(内線 523・524・543)

議

会改革の成果で、目に見えるひとつに、委員会が年間活動テーマを定めて研究し、提言にまとめている点があります。今号にまともを載せましたが、これも議会モニターさんからの提案を受けて紙面化しました。多謝。（U）

新

年度というのは、何かと新しいことをやり始めようと思うものである。今年40歳。精神的、体力的なことで、今、何が必要で、何をしなくてはいけないのか。いま一度、自分自身に問いかけていきたい。（T）

福

鳥島を訪れる機会があり、おいしいお蕎麦を食べた。お店の看板に、「春夏冬中」と書かれていたが？おわかりだろうか。四季のうち、秋がないということなので、「あきないちゅう」つまり「商い中」だった。（B）

い

つも聞いていたラジオ番組が、パーソナリティーの降板で突然終了。びっくり、残念、もやもやした思いが沸き上がる中、後を受けた新パーソナリティーの奮闘ぶりに触れ、ちよっと感動。新年度、新たな気持ちでがんばろう。（お）



議会広報委員会に衣替えして初めての定例会号。委員からの、ほっとする便りをどうぞ。